

市立高等専門学校・高等看護学院 の大学化に関する提言

平成14年12月

市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会

7 他学部等の設置に関する検討資料

以下のような分野の学部等の設置について市民から意見が寄せられたが、大学化懇話会としては、地域の必要性を背景に創設された高専・高専のこれまでの実績を踏まえ、両校を大学化することによって地域貢献していくことが最優先課題であると考えます。

分野	学部等の内容	考え方
純粋芸術分野	デザインに加え、美術・音楽などの純粋芸術学部	大学の設置を検討する場合、卒業生の就職先の見通しが大きき要素の一つとなるが、純粋芸術系の学部の場合、卒業生の進路確保が非常に困難であると認識している。
工学分野	製造業を底上げできる工学部	工学部については地域的に十分充足していると考えている。したがって、製造業の底上げについては、市内にある北大、北海道工業大、北海学園大、北海道東海大や、道内の室蘭工業大、北見工業大などとの連携により取り組んでいくべきである。
生涯学習分野	生涯学習ニーズを背景とした、教養を身につける生涯学習型の学部	大学レベルの教養的生涯学習の場としては、放送大学や通信教育の充実が進んでいる。したがって、生涯学習型の学部を設けるのではなく、大学間連携による社会人向け科目等履修制度の充実など、大学の教育機能の積極的な市民還元を通じて、生涯学習ニーズにこたえていくことが望ましいと考える。
健康科学大学院	健康科学の観点から研究を行うとともに高度な医療専門技術者を養成する大学院大学	提案のあった健康科学大学院構想は、わが国全体として検討されるべき国策レベルの課題であり、一地方自治体である札幌市が主体となって取り組む必然性は乏しい。また、多大な財政負担と職員配置を必要とする内容であり、費用対効果の面からも適当ではないと考える。